



～美ら島の未来を拓く～

内閣府

i-Construction

解禁	新聞・テレビ・ラジオ 令和元年 11月18日
----	---------------------------

I C T 活用工事（土工）現場見学会を与那原町で開催

【与那原町字与那原地内】

記 者 発 表 資 料

沖縄総合事務局開発建設部では建設現場における生産性の抜本的な向上を目指すため、調査・設計から施工・検査、更には維持管理・更新までの建設プロセス全体の最適化のための新たな施策「i-Construction」（「ICT技術の全面的な活用」「規格の標準化」「施工時期の平準化」）を進めています。

今回、「ICT技術の全面的な活用」の推進を図るため、I C T 活用工事（土工）に関する現場見学会を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

◆日 時：令和元年11月21日（木）13:30～16:30 ※雨天延期
(雨天時の予備日：11月22日（金）13:30～16:30)

◆開催場所：与那原町与那原地内 ※場所の詳細等は別添資料参照。
(平成30年度与那原地区道路改良（その2）工事)

◆対象者：沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県、各市町村、建設業者、測量設計業者、他

◆内容：ICT工事の概要説明、ICT建機による施工、他

※定員（100名程度）を超過する場合は、お申込みを締め切らせていただく場合もございます。

※報道関係者の方は、取材にお越しの際、下記問合せ先まで事前にご連絡をお願いします。

※現地にお越しの際は、ヘルメットを持参して下さい

◇電子データはこちらからご覧下さい
http://www.ogb.go.jp/kaiken/kaiken_baner_kisya

令和元年 11月18日
沖縄総合事務局

記者発表
沖縄総合事務局記者クラブ

本工事に関する問い合わせ先	
内閣府 沖縄総合事務局	南部国道事務所
副所長（技術）	安次富 長一（内線204）
工務課長	新垣 敏一（内線411）
電話番号	098-861-2336（代表）

i-Constructionに関する問い合わせ窓口
i-Constructionサポートセンター沖縄
内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部
建設工務室
TEL098-866-1922(内:3128, 4361)

工事概要

工事名：平成30年度与那原地区道路改良（その2）工事

工事場所：沖縄県南風原町与那霸地内

工定期：自 平成30年3月7日
至 令和元年12月13日

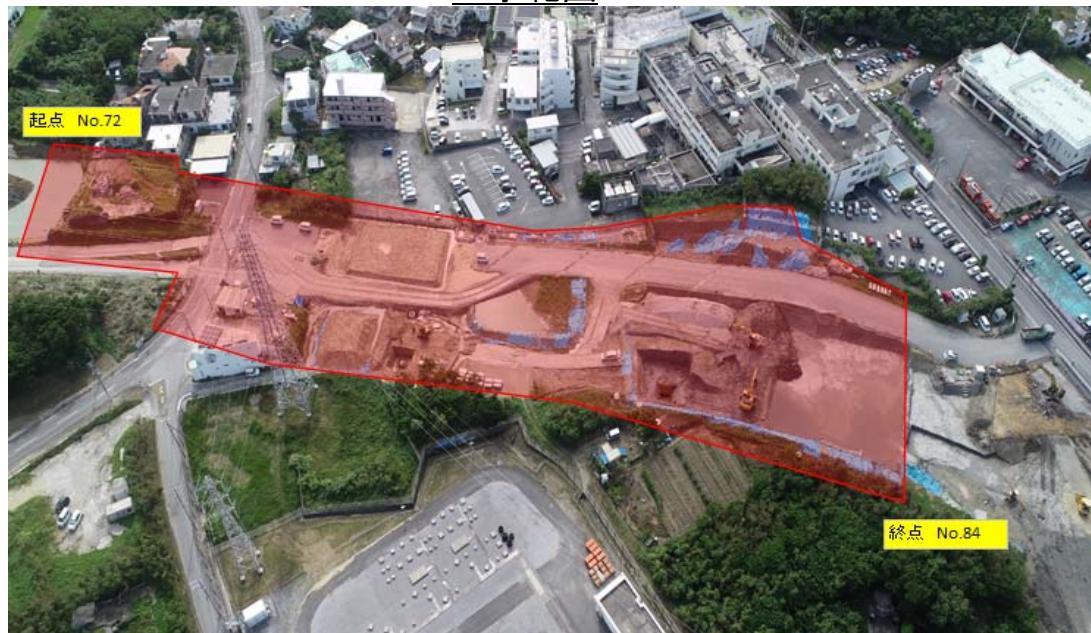
発注者：沖縄総合事務局開発建設部
南部国道事務所

請負者：沖縄県金武町字伊藝2000-2番地
株式会社 丸政工務店

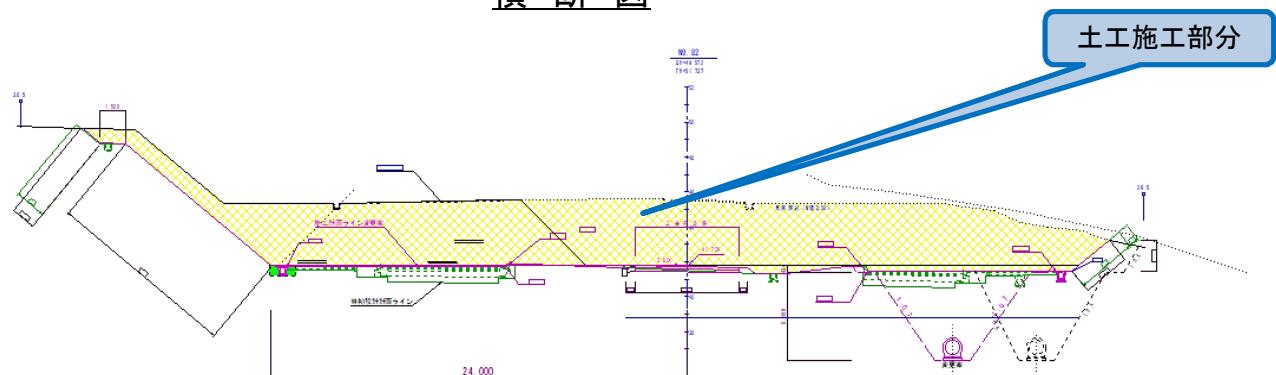
工事目的：本工事は、一般国道329号与那原バイパス区間において、与那原町周辺の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、那覇市へのアクセス強化など幹線道路網の形成を目的に道路改良（道路土工、法面工、地盤改良工、排水構造物工等）を施工する工事である。

説明会開催日：令和元年11月21日 木曜日 13:30～
(予備日) 令和元年11月22日 金曜日 13:30～

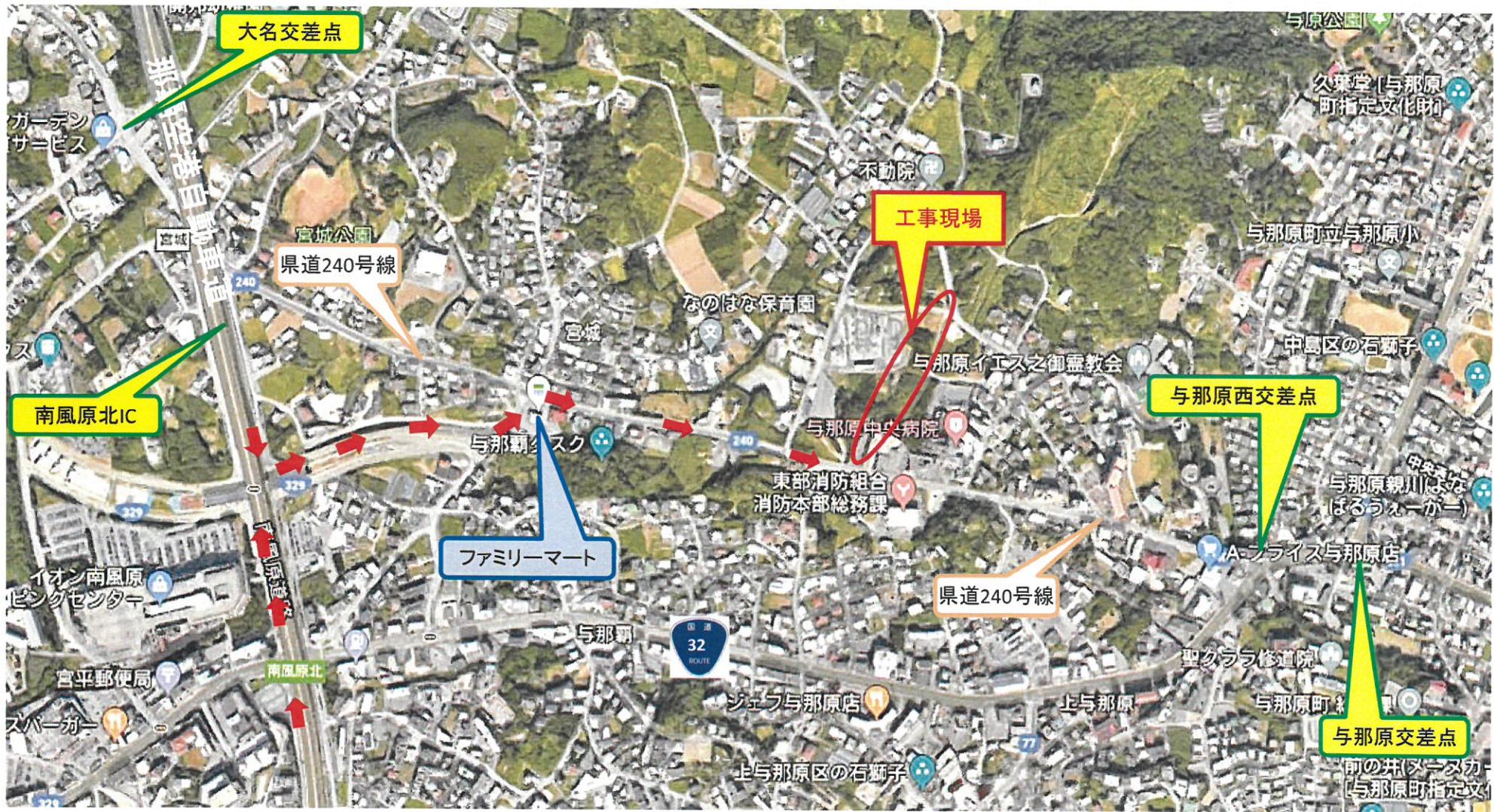
工事範囲



横断図

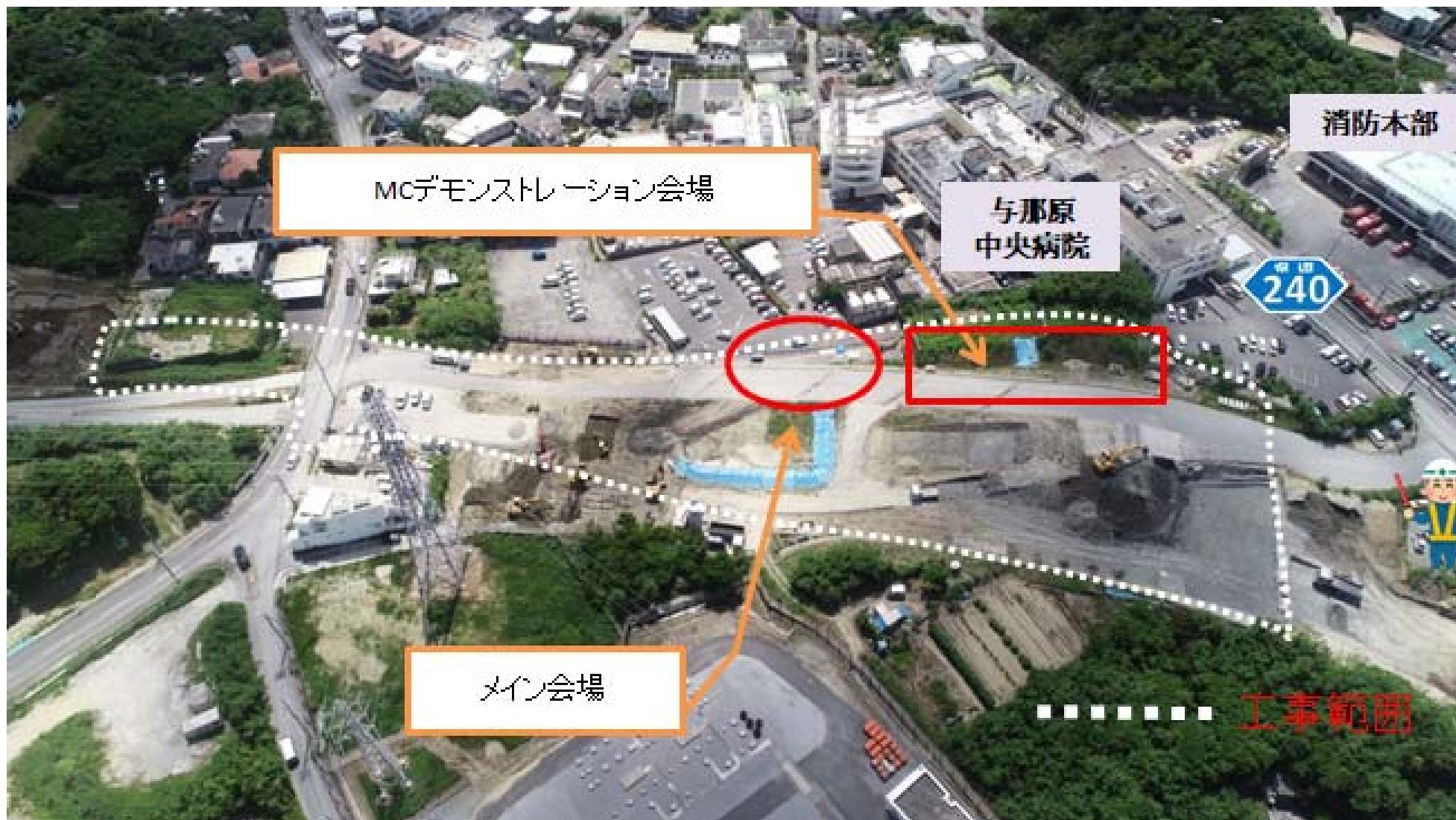


ICT施工の普及促進に向けた現場説明会 会場位置図



※本工事現場（説明会会場）は那覇空港自動車道「南風原北IC」より県道240号線与那原方向へと向かって、与那原中央病院隣になります。
当日は会場入口から駐車場まで誘導員を配置致しますので誘導員の指示に従い御駐車ください。

ICT施工の普及促進に向けた現場説明会 会場案内図



※当日来場の際は誘導員を配置致していますので誘導員の指示に従い駐車してください。

平成30年度与那原地区道路改良(その2)工事

●ICT施工現場説明会 当日の流れ

1. 工事概要説明 5分

平成30年度与那原地区道路改良(その2)工事 概要説明

株式会社 丸政工務店 監理技術者 佐喜眞 健

2. 3次元設計データ作成 デモンストレーション 30分 ~人材不足の解決~

3次元設計データ作成の流れ

専門ソフト導入後の取り組み

株式会社 丸政工務店 現場技術員 新里 綾乃

株式会社 建設システム 高良 友一郎 氏

3. スマートコントラクションの最新情報 40分 ~メリットと課題対応~

ICT活用工事のメリット紹介

エブリディドローン実演後に画像解析

※撮影した画像をその場で解析を行うのは沖縄で初めての取組

コマツカスタマーサポート株式会社 梶尾 隆広 氏

4. 質疑応答 10分

5. 休憩 10分

6. MCバックホウ 建機による施工見学及び試乗体験 50分 ~デモ/試乗~

※車両系建設機械技能講習修了書所持者には希望により実施体験が可能

株式会社 開成 玉城 晏千 氏

7. 閉会のあいさつ 3分

平成30年度与那原地区道路改良(その2)工事

株式会社 丸政工務店 現場代理人 佐々木 正人

建設現場の生産性2割向上をめざすi-Constructionの取組みとして、公共工事の現場で、測量にドローン等を投入し、施工、検査に至る建設プロセス全体を3次元データでつなぐ、新たな建設手法を導入しています。

i-Construction三本柱 ⇒ ICTの全面的な活用(ICT土工)、全体最適の導入、施工時期の平準化等

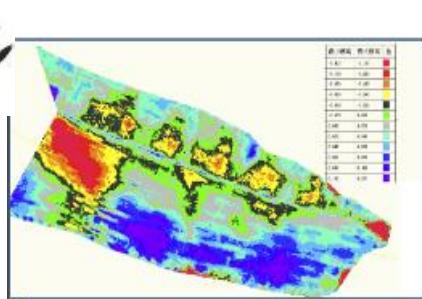
ドローン等による3次元測量

ドローン等による写真測量等により、短時間で面的(高密度)な3次元測量を実施。



検査の省力化

ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。

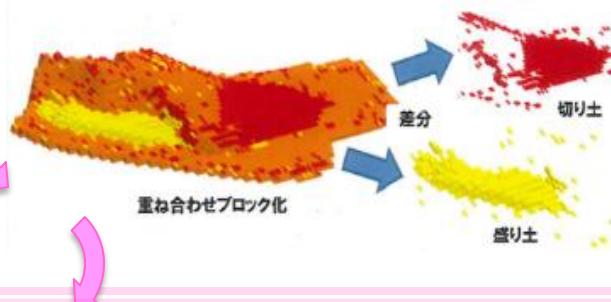


OK



3次元測量データによる設計・施工計画

3次元測量データ(現況地形)と設計図面との差分から、施工量(切り土、盛り土量)を自動算出。



ICT建設機械による施工

3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(※)を実施。

※IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。



3次元設計データ等を通信

